

Member Circular 5/2017

各保険年度総括 – 2018保険年度保険料率算定 – 2017年8月20日付、半期報告書

こちらは、英文記事「[Review of policy years Premium rating for the 2018 policy year Half-year status report as at 20 August 2017](#)」（2017年10月）の和訳です。

メンバー各位

要約

2017年8月20日現在、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd およびその子会社（以下「組合」といいます）の連結ベース¹の財務状況が引き続き強固であることをご報告いたします。主要な会計及び業績データと理事会の決定事項について、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd のマネージャーである Lingard Limited の承認のもと、下記の通りご報告いたします。

- 組合の信頼性と安定性の基礎となる株主持分は、12億8,500万米ドルとなった（2017年2月20日時点は11億3,500万米ドル）。
- 2017年上半期の剰余金は、税引後見込総保険料（ETC）ベースで1億5,000万米ドルとなった。
- 2014保険年度はさらなる保険料を徴収せずに終了。
- 2015保険年度および2016保険年度ともに、さらなる後払保険料（Deferred Call）または追加保険料（Supplementary Call）の徴収は予定していない。
- 2018保険年度のP&I相互保険とFDD特約の見込総保険料（ETC）に対する一律引上げ（General Increase）はなし。

2018年2月20日の通期決算がこの半期決算と同程度の場合、2017保険年度について後払保険料の引下げが見込まれます。

各保険年度総括

終了した年度

すべての終了した年度の剰余金の見積もり額は2017年8月20日現在9億6,400万米ドルとなりました。これは、2017年2月20日比で1,000万米ドルの増加です。

終了していない年度

未終了の保険年度（2014年～2017年）の実績見通しは、2017年8月20日現在で2億3,700万米ドルです。当該年度の見通しについては、大幅に変動する可能性があります。各年の会社勘定利益には、Gard Marine & Energy Limited から支払われる配当金が含まれています。

2014 保険年度

2015年9月に当初の見積もりの25%を10ポイント下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。当年度は過去6カ月において良好に推移し、理事会はさらなる保険料の徴収は行わずに、2014年保険年度を終了することを決議しました。

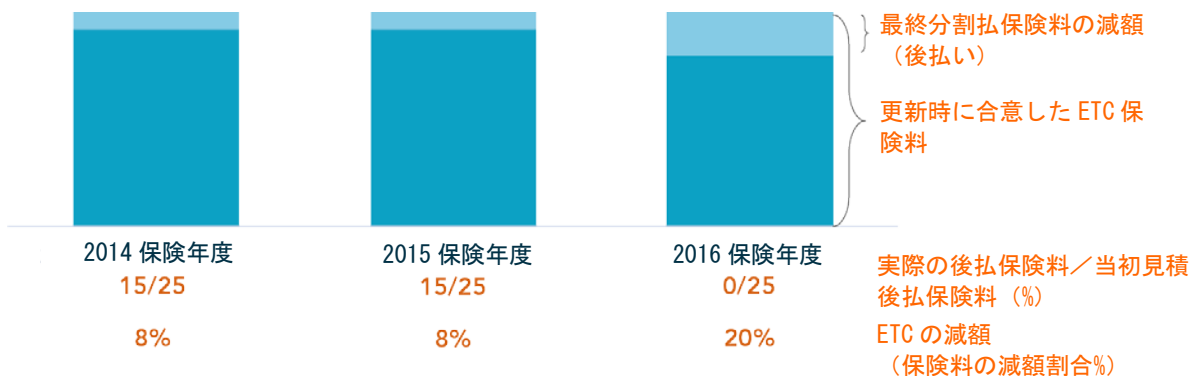
2015 保険年度

¹「連結」という用語は、Assuranceforeningen Gard -gjensidig、Gard P. & I. (Bermuda) Ltd およびその子会社の連結会計を意味します。

2016年9月に、当初の見積もりを10ポイント下回る15%の後払保険料の徴収を行いました。保険事業勘定はマイナスでしたが、当年度の業績全体はプラスでした。2015保険年度について、さらなる保険料の徴収は行わずに2018年10月に終了する予定です

2016 保険年度

2016 保険年度については、当初 25%と見積もっていた後払保険料の徴収は行いませんでした。2016 保険年度の実績見通しは過去 6 カ月間より改善しています。本年度は、剰余金が生じる形で終了する見込みであり、さらなる保険料の徴収は行わずに、2019 年 10 月に終了する予定です。



2017 保険年度

2017 保険年度の上半期は、2016 保険年度の上半期と比較して保険金請求金額、件数共に減少しました。

理事会は 2017 保険年度について後払保険料を当面 25%に据え置くことを確認しましたが、当年度の業績が予想を上回った場合には後払保険料の仕組みにより、当組合は保険料を全額徴収しなくて済むことを強調しました。理事会は、通期決算が 2017 年 8 月 20 日時点の同程度の場合、後払保険料を減額する正当な理由になると述べています。この決定は、通期決算が承認される 2018 年 5 月の理事会で下されます。

精算保険料 (Release Call)

精算保険料は、該当する未終了の保険年度における該当船舶に対する見積合計保険料に対する比率として計算されます。理事会は、現時点の見積ならびに精算保険料の設定に関する慣行に従い、未終了の保険年度の精算保険料について、以下のとおり議決しました。

2015 保険年度 :	5%
2016 保険年度 :	5%
2017 保険年度 :	20%
2018 保険年度 :	20%

2018 保険年度の保険料に関する方針

理事会は、2018 保険年度の船主相互 P&I 保険に対する保険料を、すべての保険料を一律に調整する方法を採らずに、正味合算率 (CRN) による保険勘定の目標値をベースとして算出することに決定いたしました。正味合算率は、見込保険料収入に対する当該年度の見込保険金請求額および管理費の割合を表します。

こうしたことから、理事会は 2018 保険年度に関して、P&I 及び FD&D 特約の相互保険の正味合算率について目標値を 102.5%として保険料を調整することに決定いたしました。したがって、2018 保険年度については、船主相互 P&I 保険等の見積総保険料について一律の引上げはなく、相互 FD&D 特約についても一律の引上げはありません。

保険料水準と将来リスクとの対比でのメンバーの請求実績が、保険料の調整額を決定することになります。2018 年度の契約更改における組合全体での保険料調整額の累計は、平均総保険料の引下げになるものと見込まれます。

免責額

理事会は、2018 保険年度の P&I リスクの標準免責額 (Standard deductible) は 2017 保険年度と同じ金額とすることを決定いたしました。

2017 年 8 月 20 日現在の半期報告書

総トン数 (P&I 相互保険)

2017 年 8 月 20 日現在、船主による P&I 相互保険の保険対象総トン数は 2 億 370 万 GT です。

連結会計の主要な数値

総資産は、前年度末の 30 億 4,900 万米ドルから 34 億 6,300 万米ドルに増加しました。連結ベースの株主持分は、前年度末の 11 億 3,500 万米ドルから 12 億 8,500 万米ドルに増加しました。

連結ベースでは、2017 年度上半期は 1 億 5,000 万米ドルの利益を計上しました。全事業分野にわたる保険事業利益は 7,100 万米ドルとなり、これにより正味合算率は 77%となりました。保険事業外利益は 8,800 万米ドルとなりました。

ご質問がありましたら、[Bjørnar Andresen](#) (Chief Underwriting Officer) までお問い合わせください。

GARD AS



Rolf Thore Roppestad
CEO (最高経営責任者)

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。